

新潟県における 令和7年度の循環器病対策の取組

令和8年3月23日(月)

新潟県福祉保健部

0

項 目

- 1 県計画の推進体制に関する事項
 - (1) 関係機関の体制の整理
 - (2) にいがた脳心センターに求められる事業
 - 2 県計画の事業実施に関する事項
 - (1) 予防分野における取組
 - (2) 疾患啓発に関する取組
 - (3) 医療分野の指標の分析
- ※ 第1回協議会の委員意見を基に分類

1

目 次

1 県計画の推進体制に関する事項

(1) 関係機関の体制の整理

(2) にいがた脳心センターに求められる事業

2 県計画の事業実施に関する事項

(1) 予防分野における取組

(2) 疾患啓発に関する取組

(3) 医療分野の指標の分析

※ 第1回協議会の委員意見を基に分類

2

1-1 関係機関の体制の整理

【課題】 循環器病対策を推進するにあたり、費用対効果や実現性を踏まえた選定が必要であり、保健・医療・福祉など各現場と行政が連携して、県全体の課題に取り組む体制が必要

【対応】 協議会の位置づけの確認、センター・県・関係機関の役割の整理
→計画を進めるにあたり、各部門の関係を整理し、取組や連携を行いやすくする

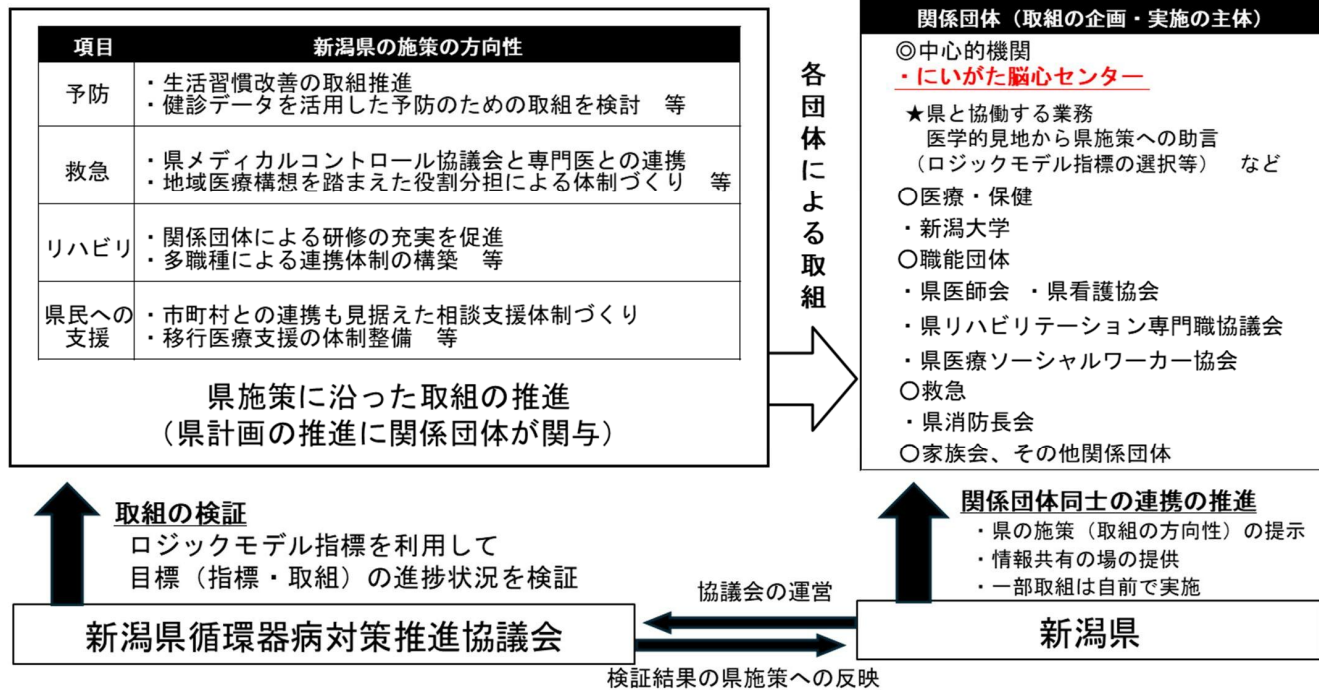
3

1- (1) 関係機関の体制の整理

新潟県の循環器病対策の推進体制

- 新潟県循環器病対策推進計画に基づき、予防・救急・リハビリなどの各項目での取組を関係者により推進し、新潟県循環器病対策推進協議会による計画の検証・進捗管理を行う
- **にいがた脳心センター**は、県や関係機関と連携し計画に基づく正しい知識の普及啓発や医療関係者の連携など、**県とともに**計画における各分野の取組を推進する**中心的役割**を担う

〔新潟県循環器病対策推進計画の項目と計画を推進する関係団体及び検証する協議会〕



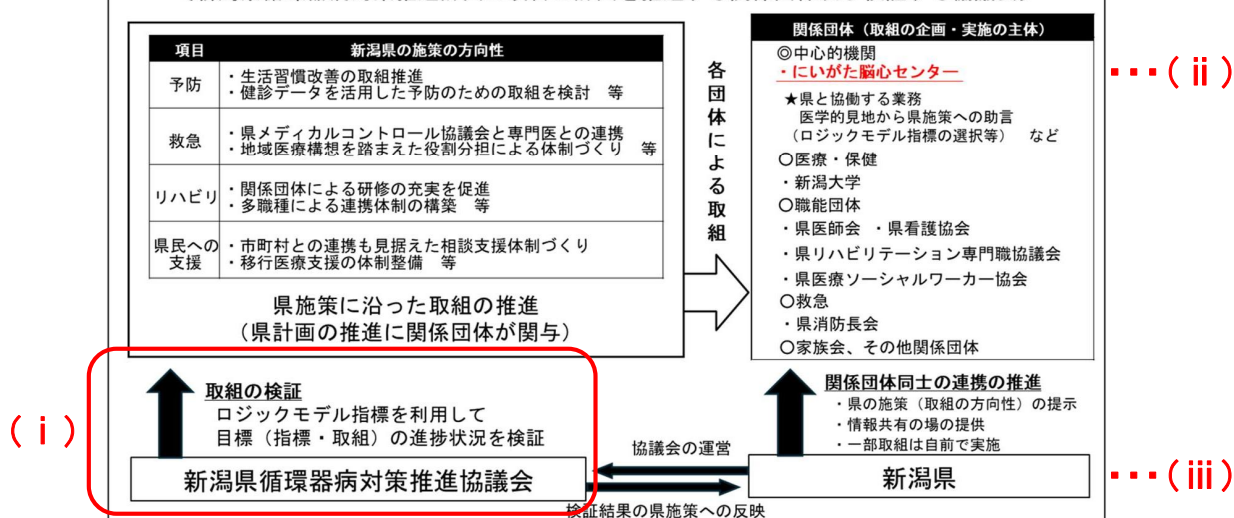
4

1- (1) 関係機関の体制の整理

新潟県の循環器病対策の推進体制

- 新潟県循環器病対策推進計画に基づき、予防・救急・リハビリなどの各項目での取組を関係者により推進し、新潟県循環器病対策推進協議会による計画の検証・進捗管理を行う
- **にいがた脳心センター**は、県や関係機関と連携し計画に基づく正しい知識の普及啓発や医療関係者の連携など、**県とともに**計画における各分野の取組を推進する**中心的役割**を担う

〔新潟県循環器病対策推進計画の項目と計画を推進する関係団体及び検証する協議会〕



(i) 本協議会：関係団体による県計画に沿った**取組の検証・進捗管理**を行う場

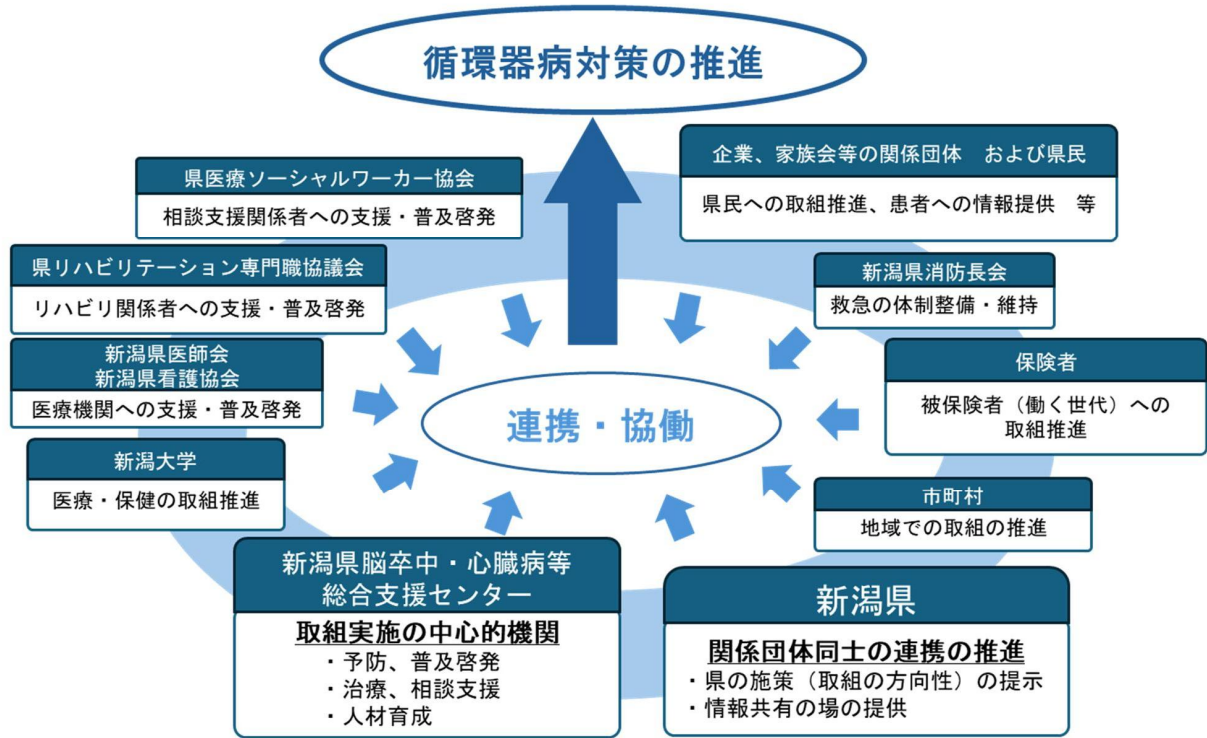
(ii) にいがた脳心センター：取組を行う**関係団体の中心的機関**

(iii) 新潟県：関係団体同士の**連携の推進**や協議会の**運営**を行う

5

新潟県の循環器病対策の推進体制（イメージ図）

- 本県における循環器病対策は、保健・医療・福祉・患者の関係団体及び行政が、それぞれの役割の下、新潟県脳卒中・心臓病等総合支援センターを中心的機関として連携・協働しながら推進する。
- にいがた脳心センターは、県や関係機関と連携し計画に基づく正しい知識の普及啓発や医療関係者の連携など、**県とともに**計画における各分野の取組を推進する**中心的役割**を担う



項 目

1 県計画の推進体制に関する事項

(1) 関係機関の体制の整理

(2) にいがた脳心センターに求められる事業

2 県計画の事業実施に関する事項

(1) 予防分野における取組

(2) 疾患啓発に関する取組

(3) 医療分野の指標の分析

※ 第1回協議会の委員意見を基に分類

1-(2) にいがた脳心センターに求められる事業

【課題】 中長期的なセンターの事業の継続性を見据えた支援が必要

【対応】 国の報告書や県の計画を踏まえセンターに求められる事業を整理

→ 本事業を県から委託する予定（来年度より）

NO.	委託事業名称	内容
(1)	一般市民向け普及啓発事業	・ ホームページや公開講座などにより、県民に向けた循環器病の発症予防・重症化予防・再発予防に関する情報提供・普及啓発
(2)	医療機関間連携推進事業	・ 県内の急性期から回復期、維持期、生活期に携わる医療機関間の連携強化 全県単位のネットワーク会議の開催（対象：県内関係医療機関、年1回）
(3)	多職種連携推進事業	・ 各地域における多職種連携と顔の見える関係づくりの強化、ネットワーク作りの推進 地域中核病院とセンターが共催する地域カンファレンス実施（年3回）
(4)	医療提供体制の整備等に資する人材育成事業	・ 地域の循環器病患者に関わる医療・介護・福祉従事者の育成 地域の関係医療機関を対象とした研修会の開催（年1回）
(5)	循環器病患者の相談に資する事業	・ 循環器病患者及び家族に対する相談支援（治療と仕事の両立支援を含む）等の実施 ・ 相談支援の知見を県内のセンター支部を通じての共有
(6)	市町村の保健事業に資する事業	・ 地域の実情に応じた内容の研修会を開催（センター支部ごとで各地域年1回） ⇒ 循環器病対策を行う市町村職員の資質向上、地域における取組及び連携の推進 ・ 保健所と連携した地域の循環器病対策・連携体制を検討する会議（情報交換会）の開催

【概要】

- ・ 新潟県の循環器病対策の推進には「県内医療機関との連携」や「多職種間の連携」等が必須だが、行政単独での取組では困難
- ・ **にいがた脳心センターは、循環器病診療の中心的な組織として全体の調整や総合的な対策の推進を担うことが可能**
⇒ 普及啓発、医療機関間の連携、多職種連携、人材育成、相談支援等の業務を委託する

8

目 次

1 県計画の推進体制に関する事項

(1) 関係機関の体制の整理

(2) にいがた脳心センターに求められる事業

2 県計画の事業実施に関する事項

(1) 予防分野における取組

(2) 疾患啓発に関する取組

(3) 医療分野の指標の分析

※ 第1回協議会の委員意見を基に分類

9

2-1(1) 予防分野における取組

【課題】・産官学連携を視野に入れた高血圧対策の取組

・県民に対する血圧測定の実践の定着

【対応】「にいがたSTOP高血圧プロジェクト」での予防・普及啓発の推進

にいがたSTOP高血圧プロジェクト 概要

達成目標

➢ 循環器病（脳卒中、心疾患）による死亡者数の減少 ※新潟県循環器病対策推進計画

サブ目標：2030年までに35～64歳の収縮期血圧平均4mmHg減少 ※協会けんぽ新潟支部第3期データヘルス計画

背景

○高血圧は循環器病（心筋梗塞・心不全、脳卒中等）のリスクを著しく高める

- ・新潟県における死亡率（人口10万対）（令和5年人口動態統計（新潟県版））
心疾患と脳血管疾患を合わせた循環器病：第2位（がんに次ぐ順位）
- ・都道府県別脳血管疾患による年齢調整死亡率（令和2年都道府県別年齢調整死亡率）
男性 第6位（人口10万対116.3 全国93.8）
女性 第9位（人口10万対68.8 全国56.4）

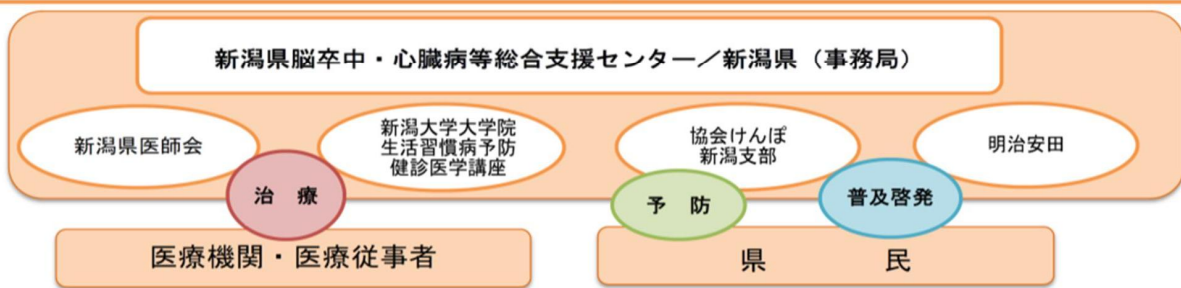
→新しい切り口での血圧対策「まずは血圧を測る」が必要

目標

- 循環器病を正しく理解する県民の増加
- 早朝血圧測定を習慣にする人の増加
・高血圧の予防
・適切な治療に結び付けるための第一歩
- 血圧計を設置、配置する企業の増加

イメージ

新潟県脳卒中・心臓病等総合支援センターと新潟県が中心に、関係機関が治療・予防・普及啓発の各分野で取組を実施



10

2-1(1) 予防分野における取組

新潟県の取組

公共施設における血圧計設置場所のご案内【新潟市】

印刷 文字を大きくして印刷 ページ番号：0790011 更新日：2025年12月25日更新



どこでも血圧 ～立ち寄った施設で血圧を測ってみませんか？～

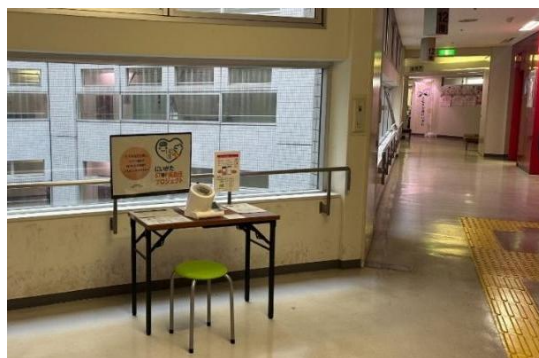
にいがたSTOP高血圧プロジェクトの一環で、誰でも使える血圧計を設置する公共施設を紹介しています。立ち寄った施設で気軽に血圧をチェックして、日々の生活を振り返ってみませんか？

- 「にいがたSTOP高血圧プロジェクト」についてはこちら
- ★こちらのページは、【新潟市】の血圧計設置場所を紹介しています。
- ★施設の種類で血圧計設置場所を探したい方はこちらをクリック

【新潟市】血圧計設置場所一覧

種別	施設名	設置場所	住所	TEL
役所・役場	江南区役所	1階 正南玄関脇	新潟市江南区泉町3丁目4-5	025-383-1000
	南区役所	2階 7番窓口前	新潟市南区白根1235番地	025-372-6385
				0256-

▲新潟県ホームページでの血圧計を設置する公共施設の公表



▲ 県庁12階（福祉保健部）に血圧計を設置（職員に対する健康経営の一環）



▲ 県庁1階のブース設置（来庁者向け）

11

2-1 予防分野における取組

関係団体の取組 ①

健康起因事故

健康起因事故とは、運転者が疾病(脳梗塞・心臓疾患及び意識消失等)を発生し、運転が継続できなくなった、あるいは発着者が生じた重大事故を指します。

測らなければ防げない。

運転すると血圧が上がる。だからこそ、普段の自分の血圧を知っておこう。今日の安全運転は、血圧チェックから。

日頃から、食生活・飲酒・喫煙・運動・休養などの生活習慣を健全に保ちましょう!

北陸信越運輸局 自動車技術安全部 × 全国健康保険協会 協会けんぽ

▲ 高速道路SA・PAのデジタルサイネージ広告 (2025.9~11) 【協会けんぽ】

協会けんぽ加入事業所の皆さま
毎日血圧を測ることから健康経営を始めてみませんか?

“血圧チェックで健康経営!” “にいがた高血圧ゼロチャレンジ”のご案内

○実施期間 2025年12月1日(月)~2026年2月27日(金)

○対象要件 期間中に血圧測定習慣化に積極的に取り組む意思のある協会けんぽ新潟支部加入事業所

【取組例】・職員に毎日血圧測定を実施
・期間中に社内に血圧計を設置
・家帯で血圧測定を推奨。血圧高値の職員に受診勧奨
・「けんぽ高血圧」等を活用し、定期的に高血圧予防に関する普及啓発を実施 等

○参加賞ほか 特に積極的に取り組み成果を上げた企業には、参加賞を差し上げるとともに、好事例として、けんぽ通信やメディアを通じて紹介させていただきます。

○申し込み先 裏面申込書により、協会けんぽ新潟支部にお申込みください。後日、明治安田担当者からご連絡いたします。

血圧計の貸し出しを希望する事業所様には、血圧計(上腕式1台、手首式10台)を2週間程度貸し出します。血圧手帳も差し上げます。

【担当】
全国健康保険協会(協会けんぽ)新潟支部
〒950-8533 新潟市中央区東大通1-3-8 日生不動産東大通ビル3階(TEL:025-242-0260) (ガイダンス)
明治安田生命保険相互会社 新潟支社
〒950-0087 新潟市中央区東大通1-3-8 明治安田生命新潟駅前ビル(TEL:025-241-6661)

協会けんぽ新潟支部と明治安田は健康づくりの推進に関する連携協定を締結し、皆さまの健康づくりを応援します。

協会けんぽ新潟支部、新潟県、新潟県脳卒中・心臓病等総合支援センター(にいがた脳心センター)、新潟県医師会、新潟大学大学院生活習慣病予防・健康医学講座、明治安田と連携して、「にいがたSTOP高血圧プロジェクト」を始動し、血圧計を設置する企業を増やすなど取り組みを進めています。

にいがたSTOP高血圧プロジェクト × 全国健康保険協会 新潟支部 × 明治安田

▲ 企業への血圧計貸出・設置促進事業 【協会けんぽ、明治安田】



▲ 花角知事への表敬訪問 【センター、協会けんぽ、明治安田】

2-1 予防分野における取組

関係団体の取組 ②



▲ 循環器病啓発セミナー【明治安田】



▲ 市民公開講座【センター】

健康寿命延伸フォーラム

STOP 高血圧

~血圧チェックで未来を変える!めざせ血圧130!~

WEB開催 令和8年2月22日(日) 14:00~15:00

事前申込不要!【事前申込不要】
参加費 無料!【参加費 無料】

事前申込は不要です。右記二次元コードを読み取っていただくか、YouTubeで「一般社団法人新潟県医師会」と検索!!

講演 I にいがたSTOP高血圧プロジェクトにおける新潟県の取組
新潟県福祉保健課健康づくり支援課 主任 水落 理絵 先生

講演 II 血圧チェックで未来を変える ~まずは測ってみよう!朝めし前の朝血圧!~
新潟大学大学院医歯学総合研究科 生活習慣病予防・健康医学講座 特任教授 加藤 公則 先生

にいがたけんこうトーク
はじめようけんこうtime
BSN新潟放送 高松 みなみ アナウンサー

【主催】新潟県医師会・新潟県 【後援】BSN新潟放送
【お問い合わせ先】新潟県医師会健康寿命延伸フォーラム事務局
〒951-8531 新潟市中央区東大通2-13 新潟県医師会会館4階
TEL:025-223-6381(平日9:00~17:00) FAX:025-224-6103
MAIL:gyomu@niigata.med.or.jp

▲ 健康寿命延伸フォーラム【県医師会、新潟県】

目 次

1 県計画の推進体制に関する事項

(1) 関係機関の体制の整理

(2) にいがた脳心センターに求められる事業

2 県計画の事業実施に関する事項

(1) 予防分野における取組

(2) 疾患啓発に関する取組

(3) 医療分野の指標の分析

※ 第1回協議会の委員意見を基に分類

2-(2) 疾患啓発に関する取組

- 【課題】
- ・ 循環器病の定義が曖昧
 - ・ 県民の循環器病に対する意識が希薄
 - ・ 医療の前段階での初期支援
(医療と介護の連携、専門知識をもつ支援者の育成)
- 【対応】
- ・ 疾患啓発用の県ホームページの作成
 - ・ 世界心臓デー・世界脳卒中デーのライトアップ (脳心センターと協働)
 - ・ 9月の救急の日に新潟日報への循環器病をテーマにした啓発

新潟県の循環器病対策

印刷 文字を大きくして印刷 ページ番号: 0630218 更新日: 2025年8月29日更新

1 循環器病について

脳卒中、心臓病その他の循環器病(「循環器病」という)は、本県の主要な死亡原因です。主に脳や心臓、血管などに生じる病気のこと、我が国の主要な死亡原因にもなっています。

脳卒中とは、脳の血管が破れる、または詰まることで起こる病気です。大きく、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の3つに分けられます。脳の障害される部位に応じて、様々な症状が出現します。

心臓病とは、心臓の働きや形、部品などの異常により起こる病気です。心臓が血液という種の栄養を全身に送り、その働きに障害が起こると、血液がうまく回らなくなり、さまざまな症状が現れます。

2 新潟県循環器病対策推進計画について

県では、県民の健康寿命の延伸を目指し、本県における循環器病対策を総合的に推進するため、「新潟県循環器病対策推進計画」を令和4年3月に策定し、令和6年3月に改定しました。

[新潟県循環器病対策推進計画](#)

循環器病に係る対策について関係者等から意見を聞き、県民の健康寿命の延伸等を図り、あわせて医療及び介護に係る負担の軽減を推進するため、新潟県循環器病対策推進協議会を設置しています。

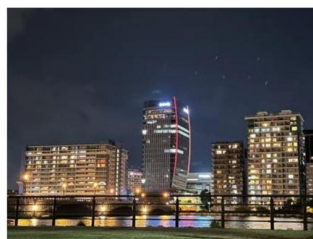
[新潟県循環器病対策推進協議会](#)

3 新潟県脳卒中・心臓病等総合支援センターについて

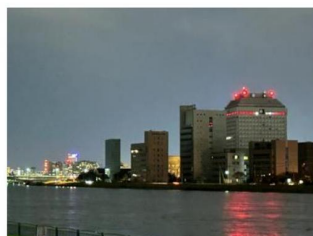
令和7年7月に、新潟大学医学部総合病院において、県のモデル事業を活用した「新潟県脳卒中・心臓病等総合支援センター(にいがた脳心センター)」が開設されました。

にいがた脳心センターは、県や医師会などと連携を取りながら、地域全体の患者支援を充実させ、情報提供や普及啓発、急性期から回復期・維持期までの円滑な移行推進、医療・支援機関のネットワーク構築などを図る組織体です。

[にいがた脳心センター<外部リンク>](#)



<メディアシップ>



<新潟県庁>



<<デンカビッグスワンスタジアム>>



<<新潟県庁>>

目 次

1 県計画の推進体制に関する事項

(1) 関係機関の体制の整理

(2) にいがた脳心センターに求められる事業

2 県計画の事業実施に関する事項

(1) 予防分野における取組

(2) 疾患啓発に関する取組

(3) 医療分野の指標の分析

※ 第1回協議会の委員意見を基に分類

16

2-(3) 医療分野の指標の分析

- 【課題】
- ・ ロジックモデル指標における算出根拠の明確化及びデータの信頼性の担保
 - ・ 医師らを変えたチームでのデータ検証を行う体制の構築
 - ・ 圏域別の実態及び課題の把握

【対応】 脳心センターの取組であるデータ展開WGへの参加、データ提供

行政データ展開WG(ワーキンググループ)について

WGの目標

循環器疾患の課題(特に医療分野)を、データに基づいて特定し、打ち手の検討につなげる

WGの概要

委 員:新潟大学医歯学総合病院の脳・心各診療科の医師
(WG長:猪又先生、WG幹事:藤木先生)
事務局:にいがた脳心センター

WGにおける 県の取組(例)

- ・ 指標データの簡易分析(NDB等オープンデータ)、行政データ提供
- ・ 県内医療機関に対する追加調査、データ取得
- ・ 他都道府県に対する照会、データ取得

→ 別添1・2

17